

平成29年度第3回中仙地域協議会会議録

平成29年 8月 8日

中仙地域協議会

平成29年度第3回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 平成29年度地域枠予算執行予定事業について	3
■その他	6
(1) 支所各課所管の事務事業等について	6
(2) その他	9
■閉会	9
■署名	9

■日 時：平成29年8月8日（火曜日）午後2時

■会 場：中仙支所2階 第21会議室

■出席委員：13名

伊藤 悟、遠藤 まき、熊谷 壽男、熊谷 亮、佐々木登代子
高橋 強、高橋 朝夫、佐々木 堅一、田口 馨、玉井 勝壽
富岡 喜榮、三浦 和則、渡部 明美

■欠席委員：4名

秋山 吉雄、高橋 泉、高橋 咲子、高橋 トモ子

■出席職員：7名

佐藤 吉一（中仙支所長兼地域活性化推進室長）	草別 真紀子（市民サービス課長）
斎藤 秋彦（農林建設課長）	榊田 成悦（中仙公民館長）
戸堀 圭喜（市民サービス課参事）	山信田 恭弘（地域活性化推進室主幹）
進藤 哲規（地域活性化推進室主席主査）	

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協議
 - (1) 平成29年度地域枠予算執行予定事業について
- 6 その他
 - (1) 支所各課所管の事務事業等について
 - (2) その他
- 7 閉会

(午後2時00分 開会)

○事務局(地域活性化推進室) 開会を宣言

○玉井勝壽中仙地域協議会長(以下「会長」と表記)

皆様ご苦勞様です。毎日このような暑い天気で大変です。加えて先日の大雨災害、中仙地域においても床下、床上浸水があったようで大変気の毒なことだと思っております。さらに私は友人が寺館に住んでおまして、行って見ましたところ、家の周りがすべて浸かっている状態でした。

本日は第3回目の地域協議会ということで、皆さんより忌憚のないご意見を賜りたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

○佐藤支所長(以下「支所長」と表記)

本日はご多用の中ご出席を賜りましてありがとうございます。本日の協議案件は地域枠予算が3件ということで、どうかよろしく願いいたします。

はじめに会長より話がありましたが、7月22日からの豪雨災害についてご報告させていただきます。委員の皆さんも報道等で状況はご存知のことと思っておりますが、大仙市もこれまでにないくらいの被害を受けております。

22日午後から降り始めた雨によりまして、大仙市では午後7時45分に災害対策本部が設置されました。中仙地域では小滝川の水位が上昇し、高三建設事務所前の堤防が危険となったために午前2時20分に新山31世帯に避難勧告を発令しました。中仙農村環境改善センターに避難所を開設しまして、その日は2世帯の方々が避難しております。23日日曜日の深夜から玉川の水位も急激に上昇しまして、氾濫危険水位を超えそうになったため、午前6時40分、清水・豊川・豊岡を除くという形で中仙全域に避難指示を発令しました。お昼には避難者143世帯359人となって、中仙赤十字奉仕団と職員でおにぎりや味噌汁の炊き出しをしております。その後、玉川の水位は徐々に下がり始めまして、午後4時には避難判断水位を切ったこともありまして避難者の方はすべて自宅に帰っております。しかしながら、玉川の水位が上昇したことによりまして、堤外の排水ができず、長野柳田、九日町の住宅で浸水の被害がありました。最終的には住家併せまして、床上浸水6棟、床下浸水22棟の被害となっております。浸水被害にあわれた住宅では災害ゴミの処理、し尿の汲み取り、周囲の消毒等、大変ご苦勞されております。近隣の皆様やボランティアの皆様のご協力によりまして、大変助けられたとうかがっております。

大仙市全体といたしましては、8月7日現在で、住宅被害、全壊が3棟、半壊が30棟、床上浸水262棟、床下浸水543棟。非住家被害、公共建物・事務所・作業場あわせまして654棟となっております。特に、協和、西仙北、南外、神岡地域においては、住宅への土砂の流入があったり、道路の決壊、法面崩壊による通行止めなどもあり、通常の生活に戻るのには、まだまだ先になることと思っております。農作物、農地、林道等の被害の取りまとめも時間を追うごとに増大しているような状況でございます。何十年に一度の災害とい

うサイクルではなくなってきたような気がします。常に災害に対する備えをしておかなければならない時期にきているのかもしれませんが、今回は、自主防災組織の連絡網が効果を発揮しました。この後検証し組織活動に活かせるようにしたいと考えております。

このような中ではございますが、地域の皆様の気持ちを盛り上げるためにも第33回のドンパン祭りをしっかりと開催したいと思っております。昨年からドンパン娘を募集してドンパン祭りを盛り上げるとともに、各種イベントに参加して大仙市・中仙地域・ドンパン祭りをPRしていただいております。今年度、新たに6名のドンパン娘を加えまして、26名体制でドンパン祭りに出演いたします。実行委員会一同、たくさんの皆様のご来場をお待ちいたしております。

委員の皆様には、今後ともご助言・ご指導を賜りたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

○事務局（地域活性化推進室）

それでは協議に入りたいと思っております。

本日の協議会は委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので、本協議会は成立しますことをご報告いたします。

それでは、会議の進行につきましては条例の規定により玉井会長にお願いいたします。

○会長

それでは次第4の「会議録署名委員の指名」ですが、今回は熊谷壽男委員と田口馨委員にお願いいたします。

次に次第5「協議」に移ります。「(1)平成29年度地域枠予算執行予定事業について」を議題とします。資料に基づきまして、担当課長より説明をお願いします。

○草別市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

事務局

資料に基づき説明。

□実施類型I型

1. 道の駅なかせん20周年記念事業

担当部署 市民サービス課

事業目的 道の駅なかせんは、皆が安心して自由に立ち寄り、利用できる快適な休憩施設であり、地域の文化、歴史、名所、特産物などの情報を発信していくことで人がにぎわい、地域の核となり、地域の活性化を目指している。

今回、20周年を記念して地域の方々と共に祝い、喜びを共有したい

と考へ、地域特産物及び伝統芸能の発表を行い、魅力ある情報発信をするとともに、新規に稼動する(合)ダイセン創農の事業を地域の内外の方に広く周知することを目的とする。

事業概要 道の駅なかせん20周年を記念して10月7日(土)～8日(日)に地域特産物・地域芸能PRや地域交流イベントを行い、新たな道の駅なかせんファンの獲得を図る。

- ・特産物の展示販売
- ・屋台で杜仲豚串焼き、味噌焼ききりたんぼ販売
- ・ダイセン創農の収穫祭
- ・ステージイベント(桜秀心舞、高校伝統芸能部、ドンパン踊り、NAMAHAIGE郷神楽)
- ・風船プレゼント

事業費 483,752円(報償費、印刷製本費等)

□実施類型Ⅲ型

1. 元町余興舞台公演事業費補助金

申請団体 元町余興舞台公演実行委員会

事業目的 長野神社祭典にあわせて元町に設置される余興舞台は、長年継続開催され、毎年多くの来場者で賑わう地域に根ざした行事となっている。
地域に伝わる文化の継承及び地域住民が集うコミュニティの醸成を図ることを目的に余興舞台公演に係る経費の一部を補助する。

事業概要 ○開催日 9月10・11日
○場所 元町地内
○内容 10日夜、11日昼・夜
＜出演＞芸能一座による公演
民謡ショー

申請額 90,000円

2. 長野駅前余興舞台公演事業費補助金

申請団体 長野駅前余興舞台公演実行委員会

事業目的 長野神社祭典にあわせて羽後長野駅前に設置される余興舞台は、長年継続開催され、毎年多くの来場者で賑わう地域に根ざした行事となっている。

地域に伝わる文化の継承及び地域住民が集うコミュニティの醸成を図ることを目的に余興舞台公演に係る経費の一部を補助する。

事業概要 ○開催日 9月10・11日
○場所 羽後長野駅前広場
○内容 10日夜の部

<出演>山川大介エンタープライズ・桜秀心舞
11日昼の部・夜の部

<出演>山川大介エンタープライズ

申請額 100,000円

○会長 ただいま「(1)平成29年度地域枠予算執行予定事業について」説明がありました。委員の皆さんの質問をお受けしたいと思います。

はじめにI型の事業についてお願いします。

○高橋朝夫委員 資料に高校の伝統芸能部とありますが、どこがくるのでしょうか。

○市民サービス課長 現段階では大曲農業高校を予定しています。

○会長 ほかにございませんか。

(なし)

次にIII型の事業についてお願いします。

○佐々木堅一委員 これは何年くらい前からの事業でしょうか。

○事務局 地域枠予算の活用事業としては、今年で3年目になります。

○三浦和則委員 関連して、補助額は3年間変わっていないのでしょうか。

○事務局 長野駅前については3年間同額です。元町については1年目2年目については7万円でしたけれども、自己資金の減少から今回の申請は9万円となっています。

○三浦和則委員 これからも増えていく可能性があるのでしょうか。

○事務局 どちらの実行委員会にも自己資金の確保をお願いしてはいますが、賛同している方の負担金が主な財源であるので、今後世帯数が減少した場合には増えていくことが想定されます。

○佐々木堅一委員 関連してですが、長野の祭典そのものについても主に寄付金でまかなわれているため、近年大変になってきているようです。

○支所長 祭典本体も継続が大変になってきておりますが、余興舞台については今回の2つが残った最後の舞台であるので、なんとか支えていきたい。一度やめてしまえば再度始

めるというのはなかなか難しいことですので。祭典本体についてもどのような方法があるのか検討したいと思います。

○高橋強委員　こういったものの事業費は個人からの負担金が主なものであると思いますが、それ以外からの負担はあるのでしょうか。

○事務局　個人のほかに地元商店や企業から負担いただいているところもあります。

○高橋強委員　今回の事業費に食料費のようなものは含まれているのでしょうか。

○事務局　余興舞台実施に係る経費のみですので、食料費は含まれていません。

○会長　ほかにございませんか。鶯野も舞台をやっているのではないですか。

○熊谷壽男委員　三島神社で昔は行っていましたが、だいぶ前からなくなっている状況です。

○会長　ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、事業の承認をいただきたいと思います。

それでは「道の駅なかせん20周年記念事業」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

次に、「元町余興舞台公演事業費補助金」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

次に、「長野駅前余興舞台公演事業費補助金」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

ありがとうございます。今回協議いただいた事業について、全てご承認いただきました。以上で「平成29年度地域枠予算予算執行予定事業について」の審議を終わります。

次に次第6「その他」に移ります。

「(1)支所各課所管の事務事業等について」ということで、各課長より事務事業の予定で

すとか、進捗状況等の説明があるようですので、よろしくお願いします。

○支所長（地域活性化推進室）

市民サービス課長

斎藤農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

榊田中仙公民館長（以下「中仙公民館長」と表記）

資料に基づき説明。

○会長　ただいま説明がありました。質問などございましたらお願いしたいと思います。

○佐々木堅一委員　このような災害が起きた際の避難所の確保を早急をお願いしたい。中仙全域について、改善センター1ヶ所しかないのか。

○遠藤まき委員　鍵見内では、行く途中の橋が危ないために避難指示がでも改善センターに行けず、不安な気持ちで自宅待機したという話がありました。状況に応じて避難場所を確保してもらえるような体制を作っていただきたい。改善センター1つだと、斉内川を渡って来ること自体が危険なのに、そこを越えて避難してくださいと言われても難しいと思います。

○支所長　鍵見内については古柳館という施設があり、そこは大丈夫だろうというイメージがあるのですが、建物自体は浸水するという事はないのですが、そこまでの行き来が危険であるために避難場所にはできません。そうなればどこがあるかとなると清水小学校までとなると遠いですし、そうなりますと各集落の会館で危なくないところがあればそこへということもあるかと思えます。

今回は本当に緊急的な対応でしたので、今後、近くに避難場所を設置できるか検討したいと思えます。

○高橋朝夫委員　問題は避難所への行き方です。どこを指定するにしてもそこへ行く道が、危なくないのか、市では高低差を詳しくわかると思うのでそういった情報を教えてほしい。どのルートを通ればその避難所にたどり着くことができるのか、予めシュミレーションをしておいてほしいと思えます。

○農林建設課長　委員のおっしゃるとおりで、まず第一にしっかりした避難場所の選定と指定。次にそこにたどり着くまでのルートの確保と周知です。現在ある洪水ハザードマップと溜池ハザードマップというものもありますので、これらを組み合わせて早急にルートの確保を行いたいと思えます。

○佐々木堅一委員　こういった際の対応を地域の方、消防団や自主防災の方を含めて話し合っていたきたい。

○遠藤まき委員　やはり自主防災組織を各集落に設けているので、このような災害があったときに、集落の長や自主防災組織の長との綿密な連絡、連携ができればもっと的確な避難ができると思います。

○三浦和則委員　改善センターというのは何人まで避難者を収容できるのでしょうか。5,100人への避難指示に対して、実際対応できないのではないですか。であれば、始めから他の場所も指定するというのが必要だと思います。

○支所長　詰めて収容すれば1,000人程度は収容できるかとは思いますが、実際そこで食事や睡眠するとなると厳しいと思います。今回は避難指示ということで、大丈夫だろうけども来たという方もいたのでしょうか、300人を越える方が避難して半日でも過ごしていただくことができました。今回の経験を活かしてもっとしっかりした体制を整えていきたいと思います。今後もなにか気がついたことがありましたら教えていただければと思います。

○熊谷壽男委員　災害の話題がたくさんでいますが、このような際には行政にばかり頼りすぎないほうが良いと思います。大きな災害の時には身近な隣近所の助け合いが一番大事だと思います。

また、分館ではなく改善センターを避難所として指定しましたが、改善センターも地盤が低いのではないかと思います。今後検討いただければと思います。

○遠藤まき委員　以前の協議会で改善センターの状況が悪いという話がでましたが、今回どうなったのでしょうか。

○市民サービス課長　厨房の設備についてのお話だと思いますが、今回は一応使用はできましたが、冷蔵庫がないという状況でした。設備についての予算要求はしていますが予算化できていない状況です。

○遠藤まき委員　今回のような災害が起こりうるので、対応をお願いします。

○中仙公民館長　熊谷委員のおっしゃったことは、災害における自助共助の「共助」の部分だと思います。大きな災害になればなるほど共助は大切になりますので、支所でもこの共助の充実に努力しますので、皆様にもご協力願えればと思います。

○会長　ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、「支所各課所管の事務事業等について」を終わります。

次に「(2) その他」に移ります。委員のみなさんから何かございませんか。

(なし)

ないようですので、次第6「その他」を終わります。

本日は、長時間にわたりご協議いただきまして誠にありがとうございました。これもちまして、平成29年度第3回中仙地域協議会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後3時10分 閉会)

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
